

茅野市・原村地域公共交通活性化協議会

平成21年2月19日設置



概要

本協議会は、日常生活に関して形成される交通圏がまたがる茅野市及び原村が設置した。住民の移動手段は、マイカーに大きく依存しており、生活路線バスは利用者の減少により、営利事業として成り立っていくことが困難になっている。両市村は、日常生活をおくる上でバスが欠かせない住民等のため、補助金によりバスの運行を支援してきたが、平成20年度、バス事業者から「不採算バス路線の見直し協議」の申入れがあった。

これに対し両市村は、平成21年度、利用者が少ない時間帯を減便し運行経費の縮減を図った上で、増額補助することで当面の対応をする。生活路線バスのほか、茅野市では福祉バスと観光路線バスが運行されている。こうした中で、広い区域内で生ずる交通需要に対応できる、利便性が高く効率的な、将来にわたった公共交通のあり方を調査検討する。

○地域公共交通の現況

■茅野市

- ・JR中央東線(駅:茅野駅、青柳駅)
- ・諏訪バス(株)(路線数:11系統)
- ・廃止路線代替運行(バス、乗合タクシー、各1系統)
- ・観光路線バス(1系統)
- ・福祉バス(路線数:13系統)
- ・タクシー(法人3社)

■原村

- ・JR中央東線(駅:なし)
- ・諏訪バス(株)(路線数:2系統)
- ・タクシー(営業所等、なし)

○地域公共交通の課題

- ・住民や来訪者等の交通需要への対応
- ・交通空白地域への対応
- ・将来にわたった公共交通のあり方

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査

○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・将来にわたった公共交通のあり方の検討
(路線の見直し、需要に応じた運行形態(車両のサイズ、経路等)、負担のあり方等)
- ・公共交通の利用促進策の検討

